



## ～西日本豪雨災害支援を終了しました～

2018年7月7日に発生した西日本豪雨災害で被災した広島県呉市安浦と広島県三原市、岡山県倉敷市真備町にて166日間の現地緊急災害支援活動を行って参りました。

全国から延べ4,576名のボランティアさんに参加して頂き96件の被災されたお宅で活動を行い12月21日に無事に活動を終了することが出来ました。

7月の猛暑の時期から、12月の寒い時期まで泥出しや水に浸かった家財出し、床下での作業、床板・壁はがしなど様々な作業を被災された家主さんに寄り添い行いました。

最初は不安そうで疲れた様子だった被災者の方も、家が綺麗になりカビや泥のにおいが消えていくと笑顔を見せてくれるようなお話を聞かせてくれるようになりました。

依頼してくれた被災者の方からは「ここまで綺麗に丁寧にしてくれるとは思わなかった」「自分達だけでしようと思ったら年を越すだろうと思っていました。こんなに沢山のボランティアさんに来てもらい有難いです」「被災したことは嫌なことでしたが、つながりの皆さんに会えたことは一生の宝物です。絶対忘れません」と、沢山の感謝の言葉を頂きました。

2018年は災害が多くありました。そんな中でも、皆様のご協力ご支援のおかげで活動を完了する事が出来ました事、心より感謝を申し上げます。

当団体は今後も、いつか起こるかもしれない災害に備え、今回得た経験を繋げていけるように全国に支部を作り、人材育成をしていきます。

引き続きご支援、ご協力を賜れましたら幸いです。

## ～ネパールで新たな取り組みを開始します～

2018年10月30日～11月4日に11回目のネパール支援訪問を行いました、当団体では2015年のネパール大地震の緊急災害支援活動後も様々なサポートを継続して行なっています。

当団体で再建したダーディン郡マイディ村の学校は、先日ネパール政府公認の学校となりました。訪問の際に定期的に絵の授業をしています。日本では当たり前にある美術や音楽、家庭科の授業がネパールにはほとんどありません。今回、絵の具を使った写生大会を開催しましたが、絵の具を初めて使う子供達がほとんどでした。今後も、ネパールの子供達に沢山の体験をしてもらい様々な将来を考える機会を提供していきたいと思います。

また、首都カトマンズの孤児院の支援も継続して行なっており、今回は日本の料理と一緒に作るなど様々な日本の文化に触れ合う機会を作る事が出来ました。

近年、日本へ勉強や就労のために来るネパール人が増えています。しかし、語学力が満足になく日本の情報もほとんど無い中での生活は困難を極めます。当団体は現地の日本語学校 KIRA と提携し、まずは学生達に語学力を付ける事の必要性を理解してもらい日本語能力検定の一定レベルの取得、取得後の日本での就労を斡旋していく形を作る事が出来ました。並行して、日本の文化を学び触れることのできる場を提供します。

ネパールと日本の文化の違いは沢山あり、生活する上で困る問題(ゴミの出し方、病院など)を事前に理解してもらう必要があります。ネパールでは賃金が安く、将来を見据えた生活が出来ない現状が多くあるようです。一方、日本は人手不足で困っている企業がほとんどです。

双方が助け合い協力することでより良い未来が訪れるよう、当団体では引き続きサポートをしていきます。



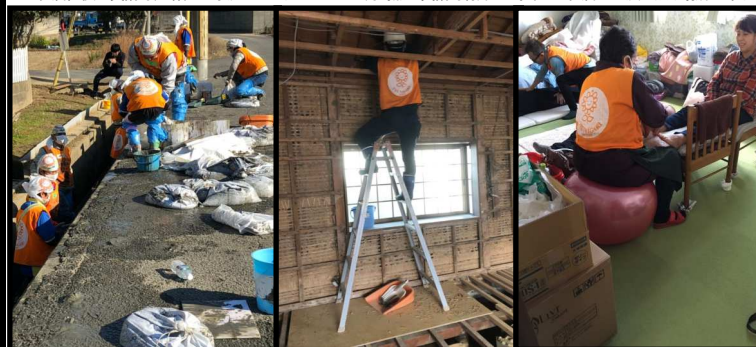
↑災害直後の真備町、2階まで水没している    ↑12月時点の真備町有井地区。未だに災害の爪痕が残る場所がある



## ～サンタプロジェクト 2018～

今年はフィンランドから本物のサンタクロースが参加し宮城県南三陸町の障害者福祉施設、石巻市の児童施設、福島県相馬市の保育園と南相馬市の幼稚園に訪問しました。

本物のサンタさんを見て子供たちはとても喜んでおり、サンタさんも3年ぶりの被災地訪問で変わっていく被災地の姿を見て「来年も参加したい」と興味津々でした。



↑側溝掃除の様子、中学生も大活躍    ↑1階天井まで水が来た家の柱の清掃    ↑被災者へのマッサージ支援